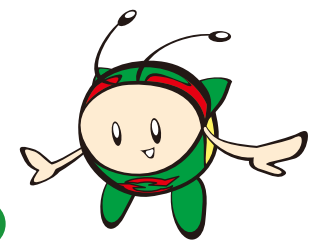


北九州市が

環境モデル都市に認定されました。



【背景】

異常気象や自然災害の引き金となる地球温暖化への対応は、先日 行われた北海道洞爺湖サミットでも議題となったように、全世界が一体となって早急に取り組むべき課題です。そのような中、北九州市 では公害問題の解決、エコタウンにおける資源循環型都市づくり、アジアへの環境技術供与などの国際貢献、環境教育など 日本のトップランナーとして環境政策を索引してきました。

環境モデル都市とは

世界の先例となる低炭素社会への転換を進め、国際社会を先導していくという方針に基づく、先駆的な取り組みにチャレンジする都市。全国82の都市や地域が応募する中、6都市（他は、横浜市・富山市・帯広市・水俣市・下川町（北海道））の一つに選ばれました。

低炭素社会とは

低炭素社会とは、地球温暖化の最大の原因といわれる二酸化炭素の排出をできるだけ抑えながら、経済発展を図り、人々が安心して暮らすことができる社会のことです。

認定の理由

北九州市のこれまでの環境への取り組みと、今後の低炭素社会づくりに向けた提案内容が評価されました。



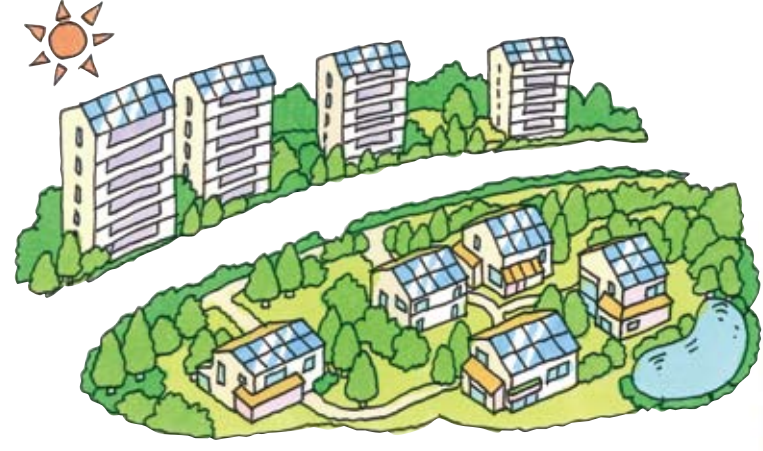
環境モデル都市認定証授与（今年7月首相官邸）

次世代の豊かな暮らしと低炭素社会の実現に向けて

低炭素200年街区

高齢者や子どもが安全で安心して暮らせるよう、200年住宅や省エネ住宅の建設、太陽光発電システムなどを推進したまちづくりを進めます。

長寿命／省エネ型街区整備



市民参加の取組



高効率交通システム



2050年 北九州市の目標

市域の二酸化炭素の排出量を2050年までに、2005年度比で50%削減。またアジアの各都市とのネットワークを生かし、海外での削減（本市排出量の150%）を含めて、合計200%相当の削減を目指します。

次世代エネルギー供給システム

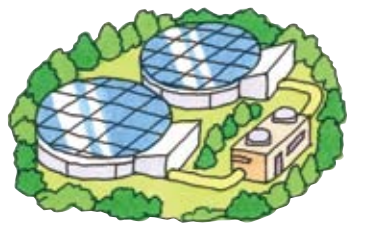
水素エネルギーの活用



洋上風力発電



メガソーラー太陽光発電



アジア低炭素化センター

環境国際協力を通じて、アジア地域へ低炭素化技術の移転等を進める窓口を目指します。

環境技術をアジアへ移転



アジアの高度環境人材育成



今後の取り組み

このたびの認定により、北九州市の提案が国のプロジェクトとしても検討され、国からの財政的支援なども期待できます。また、国内外へのPRにもつながりまちのにぎわいづくりに貢献します。今後は市民や産業界、NPOなど一体となって取り組む体制を整えるとともに、皆さんと一緒に具体的な行動計画を策定します。

問い合わせ先：環境局環境首都推進室 TEL.093-582-2787